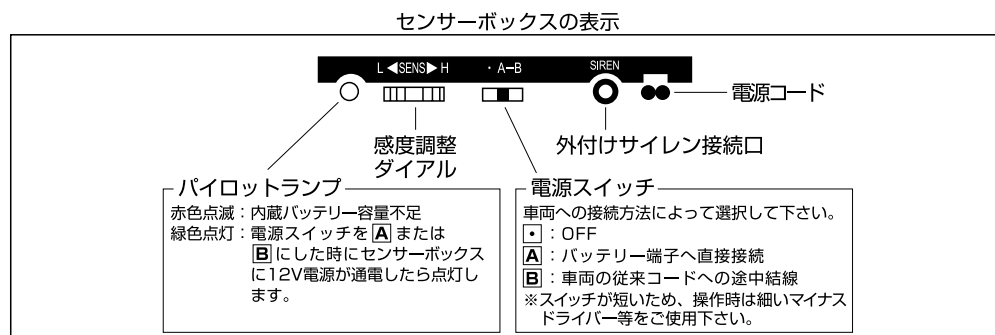
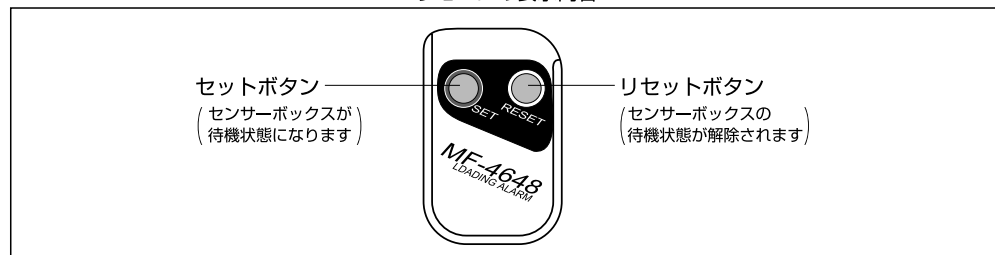


表示と動作説明



リモコンの表示内容



配線接続方法

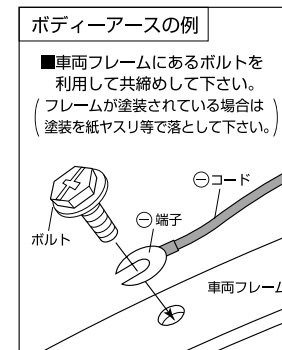
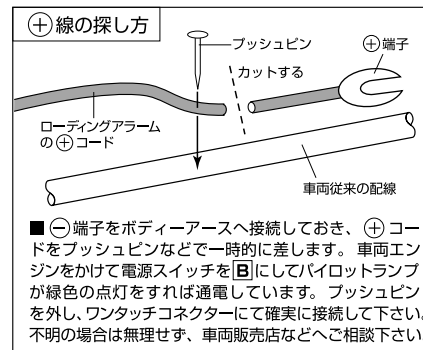
本製品は車両やご使用方法に合わせて二種類の配線方法が選べます。

- 手軽に接続したい
 - バッテリー付近に設置する
 - バッテリーレス車の場合
 - センサーボックスをなるべく隠して設置したい
 - 設置場所からバッテリーまで電源コードが届かない
- などの場合⇒ **A** バッテリー端子へ直接接続
- などの場合⇒ **B** 車両の従来コードへの途中結線
- A** バッテリー端子へ直接接続

センサーボックスから出ている電源コードをバッテリーの⊕と⊖端子に接続します。
〈黒/白線（ヒューズ付き）が⊕です〉

B 車両の従来コードへの途中結線

- ①車両の配線からエンジンがかかっている時に⊕の電気が流れている配線を探してください。
※⊕線が分からない時は、プッシュピンなどを刺して導通させて確認して下さい。
- ②センサーボックスから出ている電源コードの⊕ライン端子を切り落とし、上記配線に付属のワンタッチコネクタにて確実に接続して下さい。
- ③電源コードの⊖ラインはボディアースして下さい。



注意

- センサーボックスの電源スイッチを切った状態で作業すること。
- ⊕ ⊖を間違えると作動しなくなるので、よく確認してから接続すること。
- 電源コードの取り回しの際、シート、カウルなどに挟まないこと。ショートする恐れがあります。
- ⊕端子を切断する以外の加工はしないこと。保証が受けられなくなります。
- ボディアースはフレームの塗料を紙ヤスリで落とす等、確実に接続すること。

■補修部品の紹介

部品番号	名 称	価 格
MP-142	MF-4648用リモコン	¥3,800 (一個 コード番号が必要になります)
MP-143	外付けサイレン	¥3,000 (一本)
MP-144	MF-4648内蔵バッテリー	¥2,800 (一個 お預かりして交換)

お求めはお近くのモトフイズ取り扱い店にお申し出ください。又、通信販売でもお求めになれます。

保証規定

この製品は下記の保証規定により品質の保証をいたします。保証期間中に故障の節は必ず本保証書を現品に添えてお買い上げの販売店または当社までお申し付けください。

- 1.無償保証（保証の範囲）
 - 1) 通常のお取り扱いでお買い上げ1年以内に生じた自然故障の場合、故障した製品を無償にて修理致します。
 - 2) 保証の対象は本製品のみです。本品の取り付け等や代車等に関する費用につきましては補償の対象外となります。
- 2.次の場合は、保証期間中でも有料修理となりますのでご了承ください。
 - 1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - 2) 地震などの天災、交通事故、火災などの災害による故障。
 - 3) 保証書に必要事項（お買い上げ店名、お買い上げ年月日、お客様名）の記入がない時。
あるいは字句を勝手に訂正された場合。
 - 4) 保証書の提出がない時、又はお買い上げレシートの提示がない時。
- 3.本保証書は日本国内においてのみ有効です。
THIS GUARANTEE IS VALID ONLY IN JAPAN.

タナックス株式会社 千葉県流山市後平井107-3 〒270-0151 TEL:04-7150-2450

センサーボックスの取り付け

- ①車両のスペースに合わせてセンサーボックスの仮付けをして下さい。設置場所はシート下、バッテリーボックス、工具収納スペース、書類入れ等の水のかからない箇所からお選び下さい。方向性は特にありません。
- ②リモコンでのセット／リセットの感度や振動感知の感度を確認して下さい。それぞれの感度が著しく悪い時はセンサーボックスの設置場所を変更して下さい。電源コードが受信アンテナになっておりますので、取り回しにより感度が異なる事があります。
- ③余った電源コードは付属結束バンドにて緩く束ねて邪魔にならないように止めて下さい。



注意

振動センサーを採用しておりますので、振動の伝わりにくい箇所に設置した場合は反応が鈍くなることがあります。先に仮止め状態にて反応を確認して下さい。

外付けサイレンの設置

外付けサイレンは大きい音が必要な場合に後付けできます。防雨構造になっておりますので外部に取り付けが可能です。コードを切断される恐れがある場合は、サイドカバーの内面等、音抜けのよいところに付属の両面テープで取り付けして下さい。（外付けサイレンのコードを切断されても内部スピーカーは鳴ります）



注意

- 外付けサイレンの接続は必ずリセット状態で作業を行うこと。作動中や待機中に接続すると急に鳴り出したり、ショートの原因となります。
- 接続コネクタは確実に接続すること。
- センサーボックス本体と外付けサイレンの位置が近いと、警報音の振動によりセンサーボックスが誤作動を起こす恐れがあります。センサーボックスと外付けサイレンは振動の影響を受けない距離まで離してご使用下さい。

センサーボックスの設定

A バッテリー端子へ接続 している場合

- ①センサーボックスの電源スイッチを**A**に入れ、パイロットランプが緑色に点灯している事を確認して下さい。
- ②エンジンを掛け、**10分**ほどアイドリングさせてローディングアラーム内蔵バッテリーに充電してからエンジンを停止させて下さい。

B 車両の従来コードへの途中結線 の場合

- ①センサーボックスの電源スイッチを**B**に入れ、**10分**ほどアイドリングさせてローディングアラームの内蔵バッテリーに充電して下さい。
- ②エンジンが掛かっている時だけパイロットランプが緑色に点灯することを確認して下さい。（パイロットランプ点灯中のみ内蔵バッテリーに充電されます。）
- ③内蔵バッテリーは満充電されていない事がありますので、全ての取付作業が終わったらエンジンを掛けて1時間程走行し内蔵バッテリーに充電をして下さい。



警告

車両への接続方法により、センサーボックスの電源スイッチ位置（**A**または**B**）を正しく設定すること。誤った設定で使用すると車両バッテリーの消費やセンサーボックスの破損だけでなく火災の恐れもあります。



注意

- 10分間のアイドリングは内蔵バッテリーを充電する為なので、必ず行うこと。
- 電源スイッチを**A**または**B**に設定してもパイロットランプが点灯していない場合は、配線がしっかりと接続されていません。各接続部を確認して下さい。

使用方法

1.セット（SET）

- ①リモコンのセットボタンを2秒ほど長押しするとセンサーボックスの内部スピーカーが**ピッ**と1回鳴り、約10秒後より作動を開始します。（待機状態）
- ②内蔵バッテリーの充電残量が少なくなるとセンサーボックスの内部スピーカーが**ブッブッ**と約5秒間警告音を発し、パイロットランプが赤色に点滅します。

2.リセット（RESET）

- ①リモコンのリセットボタンを長押しするとセンサーボックスが**ピッピッ**と2回鳴り、センサーボックスの作動が停止します。
- ②作動中に異常があり警報を鳴らした場合は、センサーボックスの内部スピーカーが**ピッピッピッピッ**と4回鳴ります。（警報の実績を知らせます）

3.感度調整

センサーボックスの感度調整ダイヤルを回して調整します。

左側『L』に回すと反応が鈍くなり、右側『H』に回すと敏感になります。



注意

- 交通量の多い所や強風、雨天時などは振動の影響を受けてしまい、常に警告音が鳴る場合があるばかりでなく、バッテリー上がりや破損の原因となります。状況に応じて感度調整を行って下さい。

4.警 報

- ①待機中に振動を感知すると、すぐにセンサーボックスから15秒間「サブアラーム」として内部スピーカーから小さな警告音が鳴ります。警告音の停止後10秒以内に再び振動を感知すると「メインアラーム」として内部スピーカーと外部サイレンが大音量で15秒間鳴ります。警告音の停止後10秒以内に振動を感知しなければ待機状態に戻ります。

5.パイロットランプ

パイロットランプは現在の作動状況を表示します。

緑の点灯：12V通電状態。

- 電源スイッチが

A または **B** に選択されている時に点灯。

- 内蔵バッテリー容量が少ない場合は自動的に充電します。

バッテリー端子に接続している場合：常時点灯
車両の配線に接続している場合：エンジンが掛かっている時のみ点灯

赤の点滅：内蔵バッテリーの容量が少なくなっている状態。

（セット時にバッテリー残量警告音が鳴ります。車両バッテリーの残量警告はありません）

※電源スイッチを入れた時も一瞬だけ点灯します。

使用上の注意

- 本品は12V車専用です。バッテリーレス車にも使用できませんが、6V車には使用できません。
- 車両のバッテリーやリモコン電池の電圧、内蔵バッテリー等が低下している場合には正常な作動をしなくなります。リモコンの受信範囲が狭くなる、振動感知が鈍くなる、センサーボックスのパイロットランプが赤色に点滅している等の場合は速やかにチェックして下さい。
- リモコンの電池は市販ボタン電池を使用しております。電圧が低下している場合は市販品(CR2032)をお求め下さい。リモコンの電池交換は、ケース裏の＋ネジを外し、ケースを開けて行って下さい。
- 旧年式、輸入車、改造等によっては著しい電気ノイズが発生し、誤作動する場合があります。その際は抵抗入りプラグへの交換や、ハイテンションコード等にシールドを行う必要があります。
- センサー本体は防水仕様ではありませんので、水のかからない場所へ取り付けして下さい。
- 配線の取り回しは高熱部や可動部を避けて、コードが破損しないようにして下さい。
- 粘着テープを貼る場合は、接着面の油分等をよく拭き取って下さい。また、貼ってから一日程度は荷重がかからないようにして下さい。
- 本製品はバイクの振動を感知して警告音を発するものであり、盗難やイタズラを完全に防止できるものではありません。本品取り付け後であっても発生した盗難事故等については責任を負いかねますので予めご了承下さい。